

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第1四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年6月30日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第1四半期連結会計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)および当第1四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、また、当第1四半期連結会計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)および当第1四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,530	28,611
受取手形及び売掛金	7,125	27,894
商品及び製品	1,314	1,746
仕掛品	1,838	2,097
原材料及び貯蔵品	2,846	2,745
ゲームソフト仕掛品	11,841	10,432
その他	7,018	5,661
貸倒引当金	△308	△383
流動資産合計	67,206	78,806
固定資産		
有形固定資産	※ 15,001	※ 15,217
無形固定資産		
のれん	327	419
その他	3,081	3,154
無形固定資産合計	3,408	3,574
投資その他の資産		
その他	9,608	9,654
貸倒引当金	△1,039	△1,042
投資その他の資産合計	8,568	8,612
固定資産合計	26,979	27,404
資産合計	94,185	106,210
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,656	9,682
短期借入金	10,711	15,766
1年内償還予定の新株予約権付社債	285	400
未払法人税等	2,321	1,923
賞与引当金	1,330	2,091
返品調整引当金	291	313
その他	6,805	8,238
流動負債合計	25,401	38,415
固定負債		
長期借入金	4,959	5,067
退職給付引当金	1,223	1,171
役員退職慰労引当金	—	406
その他	1,990	1,800
固定負債合計	8,173	8,445
負債合計	33,574	46,861

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,096	33,039
資本剰余金	21,186	21,129
利益剰余金	18,304	17,000
自己株式	△8,016	△8,015
株主資本合計	64,571	63,152
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	59	△12
為替換算調整勘定	△4,020	△3,790
評価・換算差額等合計	△3,961	△3,803
純資産合計	60,610	59,349
負債純資産合計	94,185	106,210

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	16,352	19,497
売上原価	9,285	10,596
売上総利益	7,066	8,901
返品調整引当金戻入額	26	21
差引売上総利益	7,093	8,923
販売費及び一般管理費	※ 4,114	※ 5,258
営業利益	2,978	3,664
営業外収益		
受取利息	200	53
受取配当金	17	16
持分法による投資利益	0	—
為替差益	843	367
その他	22	85
営業外収益合計	1,085	523
営業外費用		
支払利息	17	51
支払手数料	11	—
その他	10	18
営業外費用合計	39	70
経常利益	4,024	4,117
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4	16
特別利益合計	4	16
特別損失		
固定資産除売却損	—	7
特別損失合計	—	7
税金等調整前四半期純利益	4,028	4,126
法人税、住民税及び事業税	192	2,239
法人税等調整額	1,453	△343
法人税等合計	1,646	1,895
四半期純利益	2,382	2,230

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,028	4,126
減価償却費	769	801
のれん償却額	123	92
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△49	△80
受取利息及び受取配当金	△218	△70
支払利息	17	51
為替差損益(△は益)	△625	△23
持分法による投資損益(△は益)	△0	—
固定資産除売却損益(△は益)	—	7
売上債権の増減額(△は増加)	7,985	20,781
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,488	574
ゲームソフト仕掛品の増減額(△は増加)	△2,297	△1,465
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,181	△6,037
その他	△3,277	△3,449
小計	2,785	15,309
利息及び配当金の受取額	245	68
利息の支払額	△10	△50
法人税等の支払額	△853	△1,757
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,167	13,570
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△569	△493
有形固定資産の売却による収入	3	—
無形固定資産の取得による支出	△101	△118
その他	△105	187
投資活動によるキャッシュ・フロー	△773	△425
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△3	△5,055
長期借入金の返済による支出	△105	△107
自己株式の取得による支出	△131	△0
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△876	△927
その他	△19	△121
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,135	△6,213
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,592	△69
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,850	6,862
現金及び現金同等物の期首残高	32,763	28,611
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	220	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 34,834	※ 35,474

【継続企業の前提に関する注記】

当第1四半期連結会計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

該当事項はありません。

【表示方法の変更】

当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
(四半期連結損益計算書関係) 営業外費用の「支払手数料」は、営業外費用総額の100分の20以下となっておりますので、当第1四半期連結会計期間より、「その他」に含めて表示しております。なお、当第1四半期連結会計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「支払手数料」は12百万円であります。

【簡便な会計処理】

当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
1 一般債権の貸倒見積高の算定方法 当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
2 棚卸資産の評価方法 当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切り下げを行う方法によっております。
3 法人税等ならびに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法 当社の法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等および一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
1 税金費用の計算 連結子会社の税金費用に関しては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
※ 有形固定資産の減価償却累計額 14,996百万円 (減価償却累計額には、減損損失累計額が含まれております。)	※ 有形固定資産の減価償却累計額 14,431百万円 (減価償却累計額には、減損損失累計額が含まれております。)

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。	※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。
広告宣伝費 690百万円	広告宣伝費 989百万円
給料・賞与等 919百万円	給料・賞与等 1,082百万円
賞与引当金繰入額 111百万円	賞与引当金繰入額 221百万円
退職給付引当金繰入額 20百万円	退職給付引当金繰入額 20百万円
役員退職慰労引当金繰入額 8百万円	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
※ 現金及び現金同等物の当第1四半期連結累計期間末残高と当第1四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	※ 現金及び現金同等物の当第1四半期連結累計期間末残高と当第1四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金 34,834百万円	現金及び預金 35,530百万円
現金及び現金同等物 34,834百万円	預入期間が3か月超の定期預金 △56百万円
	現金及び現金同等物 35,474百万円

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成21年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期 連結会計期間末
普通株式(千株)	67,489

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期 連結会計期間末
普通株式(千株)	5,661

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成21年6月17日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	926	15	平成21年3月31日	平成21年6月18日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

4 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	コンシューマ用ゲームソフト事業 (百万円)	アミューズメント施設運営事業 (百万円)	業務用機器販売事業 (百万円)	コンテンツエクスパンション事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 または 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高および営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	10,406	3,128	1,010	1,097	710	16,352	—	16,352
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	—	—	5	—	—	5	(5)	—
計	10,406	3,128	1,015	1,097	710	16,357	(5)	16,352
営業利益または営業損失(△)	3,556	△73	△245	279	302	3,818	(840)	2,978

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品および事業内容

- (1) コンシューマ用ゲームソフト事業・・・家庭用ゲームソフトの開発、販売事業
- (2) アミューズメント施設運営事業・・・アミューズメント施設の運営事業
- (3) 業務用機器販売事業・・・業務用ゲーム機器、IC基板等の開発・製造・販売事業
- (4) コンテンツエクスパンション事業・・・携帯電話向けコンテンツの開発・配信および液晶表示基板等の開発・製造・販売事業
- (5) その他事業・・・ライセンス事業、その他

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	コンシューマ用ゲームソフト事業 (百万円)	アミューズメント施設運営事業 (百万円)	業務用機器販売事業 (百万円)	コンテンツエクスパンション事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 または 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高および営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	14,148	2,926	313	1,474	635	19,497	—	19,497
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	(—)	—
計	14,148	2,926	313	1,474	635	19,497	(—)	19,497
営業利益または営業損失(△)	4,711	114	△168	△65	239	4,830	(1,165)	3,664

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品および事業内容

- (1) コンシューマ用ゲームソフト事業・・・家庭用ゲームソフトの開発・販売およびオンラインゲームの開発・運営事業
- (2) アミューズメント施設運営事業・・・アミューズメント施設の運営事業
- (3) 業務用機器販売事業・・・業務用ゲーム機器、IC基板等の開発・製造・販売事業
- (4) コンテンツエクスパンション事業・・・携帯電話向けコンテンツの開発・配信および遊技機等の開発・製造・販売事業
- (5) その他事業・・・ライセンス事業、その他

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去 または全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高および営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	12,874	1,820	1,349	308	16,352	—	16,352
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	801	133	—	—	934	(934)	—
計	13,675	1,954	1,349	308	17,287	(934)	16,352
営業利益または 営業損失(△)	3,968	△330	106	32	3,775	(797)	2,978

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

- (1) 北米・・・・・・・・アメリカ合衆国
- (2) 欧州・・・・・・・・ヨーロッパ諸国
- (3) その他の地域・・・アジア、その他

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去 または全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高および営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	11,871	4,169	3,090	365	19,497	—	19,497
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	2,288	403	1	2	2,694	(2,694)	—
計	14,160	4,572	3,091	368	22,192	(2,694)	19,497
営業利益	3,597	767	271	83	4,719	(1,055)	3,664

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

- (1) 北米・・・・・・・・アメリカ合衆国
- (2) 欧州・・・・・・・・ヨーロッパ諸国
- (3) その他の地域・・・アジア、その他

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	1,864	1,250	429	3,545
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	16,352
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.4	7.7	2.6	21.7

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米・・・アメリカ合衆国

(2) 欧州・・・ヨーロッパ諸国

(3) その他の地域・・・アジア、その他

3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高の合計額（ただし、連結会社間の内部売上高を除く。）であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	4,378	2,708	797	7,884
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	19,497
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	22.5	13.9	4.1	40.4

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米・・・アメリカ合衆国

(2) 欧州・・・ヨーロッパ諸国

(3) その他の地域・・・アジア、その他

3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高の合計額（ただし、連結会社間の内部売上高を除く。）であります。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)		前連結会計年度末 (平成21年3月31日)	
1株当たり純資産額	980.31円	1株当たり純資産額	961.38円

2 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	38.96円	1株当たり四半期純利益金額	36.08円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	35.58円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	35.95円

(注) 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(百万円)	2,382	2,230
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	2,382	2,230
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	61,155	61,826
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に用いられた四半期純利益調整額の主要な内訳(百万円)		
社債管理手数料(税額相当額控除後)	1	0
四半期純利益調整額(百万円)	1	0
普通株式増加数(千株)	5,835	236
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式について前連結会計年度末から重要な変動がある場合の概要	—	—

(重要な後発事象)

当第1四半期連結会計期間
(自 平成21年4月1日
至 平成21年6月30日)

当社は、平成21年7月30日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項を決議いたしました。その概要は下記のとおりであります。

(1) 取得の内容

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| ① 取得する株式の種類 | 普通株式 |
| ② 取得する株式の総数 | 300万株（上限） |
| ③ 株式取得価額総額 | 55億円（上限） |
| ④ 取得期間 | 平成21年8月1日から
平成21年8月31日まで |
| ⑤ 取得方法 | 市場買付 |

(2) 取得の理由

経営環境の変化に対応して、機動的な資本政策を遂行するため

2【その他】

重要な訴訟事件等

当社は株式会社イオンファンタジーより、個別売買契約の解除に基づく不当利得返還請求としての支払済みの売買代金および遅延損害金ならびに、ゲーム機の瑕疵に基づく損害賠償請求としての損害金および遅延損害金の支払の請求の内容で、平成19年10月15日に東京地方裁判所に提訴されています。当社といたしましては、本件の事案につきましては適切に対処しているものと考えております。また、原告の損害額の算定根拠も不明であり、原告が主張する損害賠償金等の支払義務を負う理由はないものと判断しており、今後法的な手続きを通じてその正当性を主張してまいります。